

対立から協調へ。大切なのは「しくみ」より「なかみ」です。

3 大阪の人と人のつながりと、自治を、ちゃんとする。

上からの発想の統治機構の改革を目指すのではなく、市民目線の住民自治を基本とし、大阪市のことは大阪市を愛する市民と共に創る「手で触れることのできるく地方自治」を築きます。

住民自治の強化

- 総合区の検討
 - ・特別職(副市長クラス)の総合区長を置くことでより権限を充実
 - ・現行のシティアマネージャー制度を廃止させ、既にエリアマネジメントされている工場・公園事務所などへの総合区長の関与と権限を強化
- 住民自治機能の強化
 - ・「区政会議」の検証と見直し
 - ・予算編成過程への住民参加の仕組みを構築

市民「実行」型 コミュニティの創出

- 既存の地域コミュニティの支援と官民連携の強化
- NPO・社会起業家などの創業支援とネットワーク化の促進(ソーシャルイノベーション)を図るとともに、行政課題を協働で解決する手法の構築
- 既存コミュニティ(地縁型)と新たなコミュニティ(テーマ型)とのマッチング促進

真の地方分権を目指した、 国への要望活動の継続

- 権限と財源の確保に向けた取り組みの推進。
 - ・真の地方分権社会の実現のための国・地方間の税源配分の是正
 - ・大都市特有の財政需要に対応した都市財源の拡充強化
 - ・事務配分の特例に対応した大都市特例税制の創設
 - ・国庫補助負担金の改革、国直轄負担金の廃止
 - ・地方交付税の必要額の確保と臨時財政対策債の廃止
- 第30次地方制度調査会の最終報告に基づく権限移譲の要望

4 大阪の改革を、ちゃんとする。

独りよがりな過度な「行き過ぎた改革」ではなく、「一人一人の市民に寄り添う改革」を築きます。

経営形態の見直し

- 地下鉄事業
 - 大阪市100%出資の株式会社化を目指し、経営と所有の分離を行う中で、私鉄各社の経営への協力・参画をいただきながら、より一層の経営の効率化、乗客の満足度向上をめざす。
- バス事業
 - 公共として市民の足の確保に努めるために、地下鉄会社の100%子会社とし、フィーダー路線として地下鉄との相乗効果を目指しながら黒字経営をめざす。

府・市事業の機能的再構築

- 大阪市立大学と大阪府立大学
 - 大学は都市の重要な知的インフラであり、大阪の成長戦略実現に向けて不可欠な要素。「新大学」の実現を検討する。
- 港湾機能の再構築

「大阪戦略調整会議(大阪会議)」へ議題として提言!

住民投票を経た現在、新たな大都市制度によるのではなく、現行制度における広域自治体と政令指定都市を前提とした中で、大阪府だけでも、大阪市だけでも解決できない課題の解決や大阪の成長に向けて、連携・協働をはかるべきです。そのために「大阪会議」を設置しました。「まっとうな大阪市政」を取り戻し、しっかりと機能させていくとともに、次のようなテーマに取り組みます。

中小企業支援策の強化

広域的観点からの
交通インフラの強化

成長の基盤となる
安全・安心の確保

創造都市の視点からの
知的都市インフラの強化

これまでの
統合案件の検証

さあ、踏み出そう!

「変わろう!」という「気づき」が、新しい大阪市を「築く」のです。

JiMiN SiMiN 20

2015 Vol.

自由民主党大阪市議員団 市政報告

編集・発行 大阪市北区中之島1-3-20 自由民主党・市民クラブ大阪市議員団 電話:06-6208-8620
ホームページはこちら <http://www.jimin-osaka.com/> 自由民主党大阪市議員団 [osakajimin](#)
政務調査会・広報委員 川嶋広稔 北野たえこ 太田晶也 福田武洋 前田和彦

「じみんし
自民し
市民」

市民に寄り添う改革で、大阪を、ちゃんとする。 さあ、踏み出そう! 未来へつづく大阪市へ。

改革の名のもとでの独りよがりな過度な「行き過ぎた改革」によって失われた4年間、ガタガタにされた大阪市。このままではいけないと、もう誰もが気づいている。「対立」からは何も生まれません。「まっとうな大阪市政」を取り戻すために、「対立」から「協調」へ、これが私たちの願いです。

自民党大阪市議員団の考え

1 大阪経済を、ちゃんとする。

人口減少、少子高齢化社会が進む中であっても、世界に誇れる大阪市となるために、緊縮路線の市政に走るのではなく、また、東京のまねをして大阪のアイデンティティを否定するのではなく、大阪の持つ「強み」「ポテンシャル」を積極的に活かし、「大阪らしい大阪の道」を歩みます。そして、「経済成長」のためにも、「官民協働の都市経営体制」を構築し、「イノベーション都市の発展」を築きます。

2 大阪市民の暮らしと、大阪の教育を、ちゃんとする。

都市の主役は、そこに住む人。子どもからお年寄りまで、みんなが笑顔になる「住み心地よき都市」を築きます。

3 大阪の人と人のつながりと、自治を、ちゃんとする。

上からの発想の統治機構の改革を目指すのではなく、市民目線の住民自治を基本とし、大阪市のことは大阪市を愛する市民と共に創る「手で触れることのできるく地方自治」を築きます。

4 大阪の改革を、ちゃんとする。

独りよがりな過度な「行き過ぎた改革」ではなく、「一人一人の市民に寄り添う改革」を築きます。

私たち自民党大阪市議員団が、大阪を、ちゃんとします。

自由民主党・市民クラブ大阪市議員団

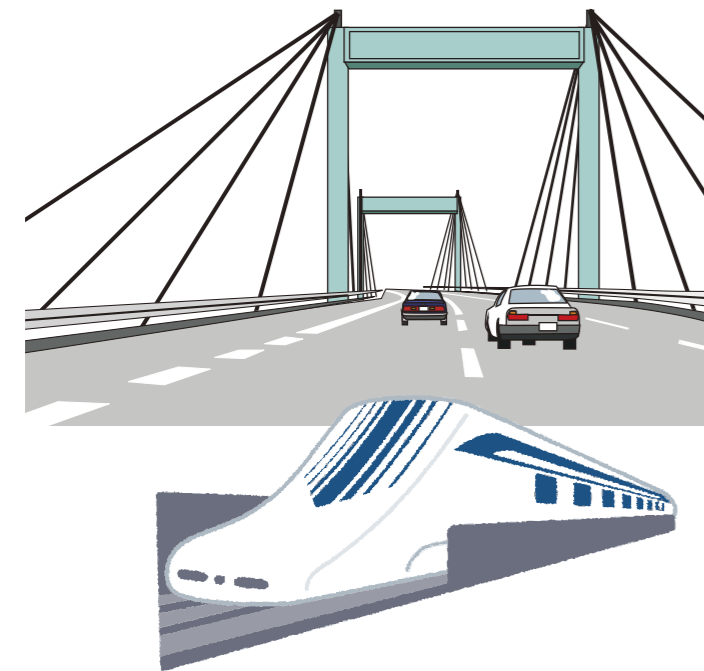


「競争」から「共創」へ。夢あふれる大阪市の未来を、「競争」から市民と共に創り出す「共創」へ。

1 大阪経済を、ちゃんとする。

人口減少、少子高齢化社会が進む中であっても、世界に誇れる大阪市となるために、緊縮路線の市政に走るのではなく、また、東京のまねをして大阪のアイデンティティを否定するのではなく、大阪の持つ「強み」「ポテンシャル」を積極的に活かし、「大阪らしい大阪の道」を歩みます。そして、「経済成長」のためにも、「官民協働の都市経営体制」を構築し、「イノベーション都市の〈発展〉」を築きます。

イノベーション都市 大阪の〈発展〉



基盤づくり

大阪市を支える都市の大動脈をパワーアップ

大都市・大阪市の 「都市大改造計画」

- 交通インフラの充実リニア中央新幹線大阪同時開業
- 高速道路ミッシングリンクの解消
- 「都市再生緊急整備地域」・「国際戦略特区」における事業推進
- 木造密集市街地問題解消
- 南海トラフ巨大地震対策・校区ごとの避難所開設訓練の徹底
- 地下鉄ネットワークの完成



成長づくり

イノベーション都市の実現から経済成長の実現へ

大阪の強みを活かした 経済成長の実現

- 大阪経済の「強み」「ポテンシャル」を活かす
・ 環境・新エネルギー、ライフサイエンス(医療・創薬)、ロボット、福祉、観光、新産業創出のために「公共ビッグデータ」の開放を進める。
- 中小企業の創造的成長のための支援策の推進
・ より一層の「経営力強化」「技術力強化」などの積極的な支援(産業創造館の施策の充実)



モノづくり

カジノよりも、まずは中小企業を中心とした経済対策

小さくても多様な起爆剤を たくさん生み出す

- 付加価値の高いモノづくり産業への転換促進
- 大阪産業創造館の機能の拡充(中小企業ワンストップ・ウインドウ)
- 地域中小企業活性化条例の制定



都市魅力づくり

戦略的なプロモーションとマーケティングの推進

観光都市大阪の魅力UP

- 御堂筋・水都大阪(中之島・道頓堀～水の回廊)のブランド化
- 既存の観光資源の高付加価値化と大阪の魅力の商品化
・ 天神祭り、文楽、光のルネサンス、大阪城公園、天王寺公園など
・ 運営事業への民間活力の導入の促進
・ 堺・百舌鳥古墳群など府内の観光資源との連携
- アジアをはじめとする新興国への積極的な海外プロモーションの展開
- 大阪市内のWi-Fi環境を整備



ひとづくり

「多様性」・「許容性」のある都市文化の形成

多様多彩なクリエイティブ人材による イノベーション都市の実現

- 新美術館の整備など中之島エリアの文化・芸術拠点(多様性・許容性ある都市魅力づくりの核に)
- 「うめきた」を核とした新ビジネスの創造、クロス・イノベーション(領域融合・産学融合のオープンイノベーション)の促進
- 大阪市立大学の「人工光合成」研究への積極的な投資
- 文楽・市音などの大阪文化の復興

2 大阪市民の暮らしと、大阪の教育を、ちゃんとする。

都市の主役は、そこに住む人。子どもからお年寄りまで、みんなが笑顔になる「住み心地よき都市」を築きます。

「住み心地よき都市」 を築く!

政令市だからできる強い福祉の実現	雇用対策	子育て支援	高齢者施策	女性の活躍	障がい者対策	健康・医療	生活保護
	<ul style="list-style-type: none"> ● 就業支援の推進 ● 生活困窮者自立支援 	<ul style="list-style-type: none"> ● 保育料の保護者負担の軽減 ● 市立幼稚園の民営化議論に終止符 ● 待機児童の解消 	<ul style="list-style-type: none"> ● 敬老バス制度の改善 ● 「居場所」の創設 	<ul style="list-style-type: none"> ● 病時・病後児保育事業などの促進 ● 女性の再就職支援 	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域における自立生活の推進のため、グループホームの整備 ● 発達障がい者の支援 	<ul style="list-style-type: none"> ● 住吉市民病院の閉院時期の延長 	<ul style="list-style-type: none"> ● 貧困ビジネスの根絶と不正受給対策の強化 ● 現物支給と就労支援で自立促進

混乱した教育現場の立て直し	学校統廃合の際には空き学校用地は地域活用	学習環境の整備	市立幼稚園のクーラー設置	校長公募制度の抜本的見直し	塾代等助成制度の検証と見直し	教育現場の人材育成と教員の負担軽減	中学校給食の検証と見直し
<ul style="list-style-type: none"> ● 学校選択制に変え、指定外就学制度の弾力運用 ● 学力向上への取り組み推進 							

